

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年11月1日(2024.11.1)

【公開番号】特開2023-90411(P2023-90411A)

【公開日】令和5年6月29日(2023.6.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-121

【出願番号】特願2021-205355(P2021-205355)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 M 25/09 5 5 0

A 6 1 M 25/09 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月24日(2024.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コアワイヤを備えるガイドワイヤであって、

前記コアワイヤは、前記コアワイヤの先端側において磁化された第1磁化領域を有し、

前記第1磁化領域の外径の最大値は、前記第1磁化領域よりも基端側の領域における先端部の外形よりも大きく、

前記コアワイヤは、さらに、前記第1磁化領域よりも基端側において前記第1磁化領域から隔てられた位置に磁化された第2磁化領域を有しており、

前記第1磁化領域の外径の最大値は、前記第1磁化領域と前記第2磁化領域との間の領域における先端部の外径よりも大きく、

前記第2磁化領域は、前記コアワイヤの外周面を覆う着磁されたコイルを含み、

前記第2磁化領域としての前記コイルの外径の最大値は、前記第1磁化領域と前記第2磁化領域との間の領域における基端部の外径よりも大きく、かつ、前記第2磁化領域よりも基端側の領域における先端部の外径よりも大きい、ガイドワイヤ。

【請求項2】

コアワイヤを備えるガイドワイヤであって、

前記コアワイヤは、前記コアワイヤの先端側において磁化された第1磁化領域を有し、

前記第1磁化領域の外径の最大値は、前記第1磁化領域よりも基端側の領域における先端部の外形よりも大きく、

前記第1磁化領域の基端部には、基端側から先端側に向かって外径が徐々に拡大した拡径部が形成されている、ガイドワイヤ。

【請求項3】

請求項2に記載のガイドワイヤであって、

前記コアワイヤは、さらに、前記第1磁化領域よりも基端側において前記第1磁化領域から隔てられた位置に磁化された第2磁化領域を有しており、

前記第1磁化領域の外径の最大値は、前記第1磁化領域と前記第2磁化領域との間の領域における先端部の外径よりも大きい、ガイドワイヤ。

【請求項4】

請求項3に記載のガイドワイヤであって、

50

前記コアワイヤにおいて、前記第2磁化領域における前記コアワイヤの外径の最大値は、前記第1磁化領域と前記第2磁化領域との間の領域における基端部の外径よりも大きく、かつ、前記第2磁化領域よりも基端側の領域における先端部の外径よりも大きくなるよう形成されている、ガイドワイヤ。

【請求項5】

請求項1または請求項3または請求項4に記載のガイドワイヤであって、

前記コアワイヤは、前記第1磁化領域と前記第2磁化領域との間の領域において、前記コアワイヤが湾曲した湾曲部を有する、ガイドワイヤ。

【請求項6】

請求項1または請求項5に記載のガイドワイヤであって、

前記第1磁化領域の基端部には、基端側から先端側に向かって外径が徐々に拡大した拡径部が形成されている、ガイドワイヤ。

【請求項7】

請求項1から請求項6のいずれか一項に記載のガイドワイヤであって、

前記第1磁化領域の先端部には、基端側から先端側に向かって外径が徐々に縮小した先端縮径部が形成されている、ガイドワイヤ。

【請求項8】

コアワイヤと、前記コアワイヤを覆うコイルと、を備えるガイドワイヤであって、

前記コイルは、磁化された磁化領域を有し、

前記コイルのうち前記磁化領域を形成している素線は、前記磁化領域よりも基端側の領域における先端部を形成している素線より太い、ガイドワイヤ。

10

20

30

40

50